

にけーしよん

11/16 菊川地区コスモス祭り

農地・水管理支払交付金を活用した農村環境保全活動の一環で、菊川小学校前の田んぼで「菊川地区コスモス祭り」が開催されました。菊川小学校と菊川環境保全推進会(尾上武司代表)が共同でコスモスの植栽を行い、9月初旬に児童20名が丁寧に播種した2反5畝程の田んぼには、一面にコスモスが咲き誇っていました。

すがすがしい秋晴れの下、来場者は、菊川環境保全推進会が腕を振るって調理したシシ汁を堪能したり、餅まきに参加したりするなど、コスモス祭りを楽しみました。



11/17,18 癒しのへんろ道を歩こう

癒しの里、四国のへんろ道を歩く「トレッキング・ザ・空海あいなん」が2日にわたり開催されました。あいにくの雨模様となった1日目は、松尾越えコース(10km)、一本松 里の道コース(11km)、宿毛・愛南の道コース(21km)で実施され、松尾越えコースに御荘中学校の生徒85人が参加するなど、合計約180人が険しい山道に挑みました。2日目は、DE・あ・い・21から嵐坂ポケットパーク風園(宇和島市津島町)までを歩く柏坂コース(13km)に約190人が参加し、つわな奥展望台で開催されたシンセサイザー奏者西村直記さんの「青空コンサート」や本町出身の俳人夏井いつきさんの「句会ライブ」などを楽しみました。両日も、各所に設けられた接待所で飴、おはぎ、焼き芋、めざし、豚汁、みかんなど、地元住民の方々の笑顔あふれる「お接待」を受け、参加者は疲れを癒していました。



植坂



青空コンサート

本日! 海日和!! Vol.26 「今年は蛇年」

愛南町にはたくさんのウミヘビが住んでいます。愛南町にウミヘビ?と思う人もいるかもしれません。

ウミヘビといっても愛南町に住んでいるのは、すべてアナゴの仲間です。ですから毒ありません。体が細長く、悪そうな顔つきをしているアナゴの仲間を、〇〇ウミヘビと呼ぶようになったようです。写真のイレズミウミヘビも恐ろしい顔つきをしていますが、いたって穏やかな性格です。昼間は砂地から頭だけを出して周りの様子をうかがっています。ダイバーが近づくとソロリ、ソロリと砂の中に潜ってしまいます。夜になるとはい出して、小さなエビやカニなどを食べているようです。



頭をのぞかせる
イレズミウミヘビ

蛇は金運をもたらすそうです。みなさんの金運も上がるといいですね。

(イレズミウミヘビ 野地島)愛南サンゴを守る会 西尾知照

愛南こみゆ

11/22 怖い火事から身を守ろう

愛南町消防署では、町内の保育所や小・中学校を対象に消防訓練を実施しています。

一本松保育所では、東海保育所との合同消防訓練を行い、人気ア



ニメのビデオを見て火事の怖さを学んだり、消火器の使い方を習ったりしました。煙幕を使った避難訓練では、園児たちは姿勢を低くして服の袖で口を覆うなど、講義した消防士に教わったとおりに避難することができました。

12/1 正木の花とり踊り

正木地区に伝わる古式ゆかしい伝統の舞「正木の花とり踊り」(県指定無形民俗文化財)が、正木権現堂、歓喜光寺境内、旧庄屋蕨岡家の庭の3か所で披露されました。

踊り手は篠川で身を清めた後、大勢の観客が見守るなか、鉦や太鼓のリズムに合わせ「エイ、ヤー」と威勢良く舞っていました。



12/2 ふれあい愛空望ステージ

御荘文化センターで、愛南町社会福祉協議会(尾崎利男会長)主催による「ふれあい愛空望ステージ」が初開催されました。同ステージは、町内各地区で活動する「ふれあいサロン」の役割を住民の皆様にお知らせし、地域の福祉力を一層向上させることを目的に行われ、会場2階の大研修室にはサロンの活動写真などが展示されました。また、大ホールで愛媛県警音楽隊の演奏や一本松地区サロンの「伊予万歳」など各地区サロンによる芸能発表があったほか、福浦地区の「三番叟」、家串地区の「荒獅子」が披露されました。最後は、全地区サロンが参加しての「なかよし音頭」で会場を盛り上げ、地域のぬくもりを感じた一日を締めくくりました。



12/3 手づくり木製ベンチを贈呈

愛南町商工会工業部会(小島豊久部会長)が、地域貢献活動の一環として木製ベンチ9台を製作し、町内小学校に寄贈しました。建設業や製造業という会員の技能を活用して作られた木製ベンチには、「愛南町商工会 工業部会」という文字が彫刻されています。

3日には平城小学校で贈呈式が行われ、ベンチを受け取った棟田実里さん(6年)がお礼の言葉を述べました。

